

平成 24 年度日本気象学会中部支部研究会

1. 日時： 2012 年 11 月 13 日（火曜日）13:30～18:00（終了後、懇親会）
11 月 14 日（水曜日）09:00～12:00
2. 場所：愛知教育大学（自然科学棟 5 階 538 号室）
（愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1）
3. 交通案内：会場となる愛知教育大学自然科学棟への交通は、以下の通りです。
 - ・名鉄名古屋本線知立駅下車。名鉄バス 1 番乗り場 愛知教育大前下車（所要時間約 20 分）
 - ・名鉄豊田線日進駅下車。名鉄バス 1 番乗り場 愛知教育大前下車（所要時間約 25 分）
 - ・JR 東海道線刈谷駅下車。愛知教育大前行きバス（所要時間約 35 分）あるいは、愛知教育大学の交通案内 <http://www.aichi-edu.ac.jp/access/> をご覧ください。

会場案内図



◇ 支部研究会のプログラム

11月13日(火)

●13:30～13:40 開会の辞 神田 豊(中部支部長/名古屋地方気象台)

(1) 13:40～14:00 *梅川紗綾(名古屋大学大学院環境学研究科)、中村健治、秋元(古澤文江、西川将典(名古屋大学地球水循環研究センター))

「沖縄域における乾燥大気の貫入現象」

(2) 14:00～14:20 *安藤文香、飯田潤士、吉野純、安田孝志(岐阜大学大学院工学研究科)
「画像変形解析による短時間降雨域予測手法の開発と精度検証」

(3) 14:20～14:40 *庄 建治朗(名古屋工業大学都市社会工学科)、谷口 健司(金沢大学理工研究域)

「10分雨量データを用いた名古屋における大雨事例の雨域解析」

(4) 14:40～15:00 *西 正(三重大学生物資源学部)、千田 眞喜子(京都光華女子大学・大阪成蹊短期大学)、葛葉 泰久(三重大学大学院生物資源学研究科)

「三重大学の降水中に含まれるイオン濃度の月変化に関する研究」

(5) 15:00～15:20 *濱崎 翼、清澤 秀樹(三重大学大学院生物資源学研究科)

「地表面温度の時間変化を用いた広域の地中伝熱量の推定」

○15:20～15:30 休憩

(6) 15:30～15:50 *草刈 智一(元信州大学大学院)、寒川典昭・中屋眞司(信州大学工学部)、浜口俊雄(京都大学防災研究所)、山崎基弘(前信州大学工学部)

「移動部分標本を用いた非定常水文頻度分析における標本長さの評価」

(7) 15:50～16:10 中塚 武(名古屋大学大学院環境学研究科)

「中部日本における樹木年輪セルロースの酸素同位体比を用いた過去2千年間の水循環の年々変動の復元—その気候学的・歴史的意味の解明に向けて—」

(8) 16:10～16:30 *古田仁康、立花義裕(三重大大学生物資源学部)

「成層圏突然昇温が日本の降雪に与える影響について」

(9) 16:30～16:50 *菊本雄紀、神慶孝、甲斐憲次、柴田隆、長田和雄、永尾一平(名古屋大学大学院環境学研究科)

「名古屋港で観測された局地風の鉛直構造について —2012年7月14日～15日のフィールドセミナー—」

(10) 16:50～17:10 *越山大貴、榊原保志(信州大学大学院教育学研究科)

「長野市浅川地域における山風の吹送過程及びその冷却効果」

(11) 17:10～17:30 *亀村光、大村文美、轡田邦夫(東海大学海洋学部)、亀田傑(東海大学大学院地球環境科学研究科)

「篤志観測船データを用いた海上風の長期変動の解析」

(12) 17:30～17:50 *亀田 傑（東海大学大学院地球環境科学研究科）、轡田 邦夫（東海大学海洋学部）

「全球海上風データセットを使用した10年スケール変動の解析」

●17:50～18:00 第1日目の発表に関する講評 甲斐憲次(中部支部理事/名古屋大学)

●18:15～20:00 懇親会（会場：愛知教育大学構内ユース）

11月14日（水）

(13) 09:00～09:20 *永尾一平（名古屋大学大学院環境学研究科）、齋藤伸治（東京都環境科学研究所）

「名古屋の都市大気における芳香族炭化水素濃度の日変化」

(14) 09:20～09:40 奥 清治(名古屋地方気象台)

「GPS観測データによる「平成20年8月末豪雨」の解析」

(15) 09:40～10:00 *平松 章男（日本気象予報士会北陸支部／北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科）、HUYNH Van Nam（北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科）、中森 義輝（北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科）

「意思決定者のリスク選好態度を考慮した確率予報の活用について」

(16) 10:00～10:20 吉田信夫（多治見の気温をはかる会）

「多治見の夏の暑さと降雨の関係」

○10:20～10:30 休憩

(17) 10:30～10:50 *五味 千絵子，葛葉 泰久（三重大学大学院生物資源学研究科）
「降水量の非線形科学的モデル化手法について」

(18) 10:50～11:10 *鈴木直美，五十嵐結香，大野更紗（三重県立津高等学校2年生），
橋谷耕司，奥田光升（三重県立津高等学校），安藤雄太，藤田啓，吉岡七緒，立花義裕（三重大学大学院生物資源学研究科）

「ラジオゾンデ観測による夏季の津市上空の大気構造」

(19) 11:10～11:30 *大野更紗(三重県立津高等学校2年生)、立花義裕、Alima Diawara、
大鹿美希、大富裕里子、緒方香都（三重大学大学院生物資源学研究科）、奥田光升、橋谷耕司（三重県立津高等学校）

「北極振動指数の近年における異常値の増加傾向について」

(20) 11:30～11:50 *五十嵐結香（三重県立津高等学校2年生）、奥田光升、橋谷耕司
（三重県立津高等学校）、小松謙介、坂田晴香、西川はつみ、立花義裕（三重大学大学院生物資源学研究科）

「竜巻は天気図から予測できるのか！？～パターン相関法による予測性の検証」

●11:50～12:00 第2日目の発表に関する講評 立花義裕(中部支部理事/三重大学)

●閉会の辞

複数の著者による発表では、著者名に左肩に*印の付いた方が発表される予定です。
今回の支部研究会では、講演 1 件あたりの時間は 20 分を予定しております。各講演者の方は講演時間 15 分、質疑時間 5 分を目安とした講演をお願いいたします。